

わんにゃんドック（健康診断）

健康診断で、総合的な健康状態を知ることが大切です

ご家族さまもご存知の通りわんちゃん猫ちゃんのカ齢は急速に進みます。犬の場合、成犬になると小型中型犬、猫で1年に約4歳、大型犬は1年に約7歳のスピードでカ齢を重ね、やがて中・高齢期を迎えます。何より重要となってくるのは、「健康な時間」を延ばしていくことでありそのためにも、総合的に現在の健康状態を把握することは大切となります。当院では予防医療への取り組みとして、ペットを病気から守る「Team HOPE 健康診断」を推奨しています。Team HOPE 健康診断は、ご家族さまの受診しやすさを考え、基本的な検査項目で構成しており全国の動物病院で共通して取り組むことで、「初めての健康診断」として多くのわんちゃん猫ちゃんとご家族さまに受診を呼びかけています。

カ齢や犬種猫種、心配な部分からそのこに合った健診を提案いたします。検査を組み合わせて最適なものを選びましょう。

どんな検査がうけられるの？ 各プランで次ページのセクションからお選び下さい →

スタープラン

健診費用 ¥6,000 (税抜)

まずは気軽に健診をうけたい

Aセクションから3項目 + 血液検査

スタンダードプラン

健診費用 ¥12,000 (税抜)

総合的な基本プラン

Aセクションから3項目 + Bセクションから3項目

カスタムプラン

健診費用 ¥18,000 (税抜)

しっかり全身を検査したいなら！

Aセクションから5項目 + Bセクションから5項目
もしくは
Aセクションから5項目 + Bセクションから3項目 + Cセクションから2項目

健診の受け方

- ✓ 検査結果に影響が出る場合がございますので朝の食事をぬいて受けられることをおすすめ致します
- ✓ 午前中にお預けいただき、夕方にお迎えに来てください
- ✓ 健診の結果は後日まとめてご報告いたします

Aセクション（基本検査）

- 便検査
腸内細菌のバランスや寄生虫がないかを検査します
- 尿検査
尿糖や血尿がないかなど尿の状態を検査します。腎臓病など泌尿器の病気の発見に
- 心電図検査
不整脈などがないかを検査します
- 血圧測定
高齢や心臓病などで現れる高血圧をしらべます。特に猫ちゃんにおすすめです
- 眼科検査
白内障など目に異常がないかを検査します

Bセクション（スクリーニング検査）

- 血液検査
肝臓や腎臓などの内臓の機能を把握することができます
- 胸部レントゲン検査
心臓の大きさや肺など胸にある臓器の異常を検査します
- 腹部レントゲン検査
お腹にある臓器の形に異常がないかを検査します
- 脊椎骨盤レントゲン検査
背骨や骨盤に変性などがないかを検査します
- 胸部エコー検査
主に心臓の動きを確認して、異常がないかを検査します
- 腹部エコー検査
レントゲンではわからないお腹の臓器の内部構造を確認します

Cセクション（追加検査）

- 血液型
DEA1.1型（犬）、AB式（猫）の血液型を判定します
- FIV/FelV検査
猫のみ。猫エイズウイルス、猫白血病ウイルスの検査です
- UPC/UAC
腎臓病の検査です。腎臓病の進行に関わる尿へのタンパクの漏れを検査します
- 甲状腺ホルモン検査（FT4もしくはT4）
大型犬や高齢の猫ちゃんにおすすめ。高齢になるとホルモンの乱れがおきます
- 副腎ホルモン検査
小型犬におすすめ。ステロイドホルモンを測定します
- GA（糖化アルブミン）測定
糖尿病の検査です
- リポ蛋白質コレステロール分画
高脂血症の検査です
- TBA（総胆汁酸）測定
肝機能の検査です
- アミノ酸分析（BCAA、チロシン）
肝臓のアミノ酸代謝異常の検査です。肝臓病の重症化によって数値が悪化します
- ANP（心房性利尿ペプチド）
心臓病の検査です。心臓の筋肉から分泌されるホルモンを測定します
- 鉄・UIBC/TIBC測定
貧血の検査です